

ステートメント

東京での生活が長くなるにつれ、日本各地を訪れる機会も増え、日本の伝統建築に触れる経験を重ねてきた。そうした日常的な観察を通して、私は次第に「空間」という概念そのものを思考の対象として捉えるようになった。私が一貫して空間に関心を抱いてきた背景には、幼少期の生活環境も大きく影響している。頻繁な転居を繰り返した幼少期において、「家」は固定された形態を持たず、私の記憶に残っているのは、常に変化し続ける空間の連なりであった。

人が空間を最初に知覚する契機は、一つの大きな空間が分けられることで生じる、複数の小さな空間の存在にあると考えられる。日本の伝統的な室内空間は、畳、柱、障子、襖といった要素によって構成され、これらは空間を分断するための壁ではなく、動線や視線を緩やかに調整するための装置として機能している。その分割は、空間を完全に切断するのではなく、連続性を保ったまま領域を生み出す点に特徴がある。

このような空間構成の思想は、中国建築においても重要な位置を占めている。柱や屏風によって空間の流れを制御しつつも、奥行きや広がりを遮断しない構造は、東アジアに共通する空間認識の一端を示しているといえる。私は、こうした建築的実践を、東アジア文化圏において共有してきた潜在的な空間意識の表象であると捉えている。

私はこの「空間」を思考の起点として制作を行い、自身のアジア的空间認識を作品の中に組み込んできた。初期の制作では、「無数の変化を内包する空間」、すなわち不確定性を前提とした空間の在り方を絵画として可視化することを試みた。その出発点となったのが、折り紙という極めて単純な制作行為である。折るという反復的な行為の中に、空間が生成され、変形し続ける状態を見出した。

その後、1980年代以降、パソコンが社会システムに深く組み込まれ、データベースや通信ネットワーク、電子メディアが発展していく時代背景から、新たな視点を得た。パソコン時代からの空間は、単なる物理的・具象的な構造としてではなく、抽象化され、無意識的に処理される情報空間として認識されるようになった。私は、パソコンの規則的な演算プロセスの中に、視覚的なランダム性や生成の可能性を見出し、まずデジタル上で秩序あるシステムを構築し、それをキャンバスへと移行させる制作手法を採用している。規則の中に生じる微細なズレや変化を、絵画として定着させることが目的である。

本卒業制作では、襖を屏風の形式として用いるとともに、平面的な絵画作品も取り入れながら、私自身が捉えるアジア的空間秩序を一つの空間システムとして構成することを試みる。中国人として日本で生活する中で、私は常にある種の違和感を覚えてきた。それは単なる文化差異ではなく、東アジア文化に内在する「和而不同（和して同ぜず）」という感覚が、日常空間の中で可視化される瞬間であると感じている。

異なる文化的背景を持つ空間認識が交差することで、空間は一見調和しているながらも、どこか均質ではない緊張を孕む。本制作では、その秩序の中に意図的な違和感を組み込み、石を配置することで、庭園を想起させる不均衡な要素を導入した。整えられた構造の内部に揺らぎを発生させることで、鑑賞者が空間を即座に理解するのではなく、無意識的な想像や身体的な感覚を通して空間と向き合う契機を生み出すことを目指している。

2026年1月23日(金)～1月25日(日) 10:00～17:00

東京造形大学卒業研究・卒業制作展

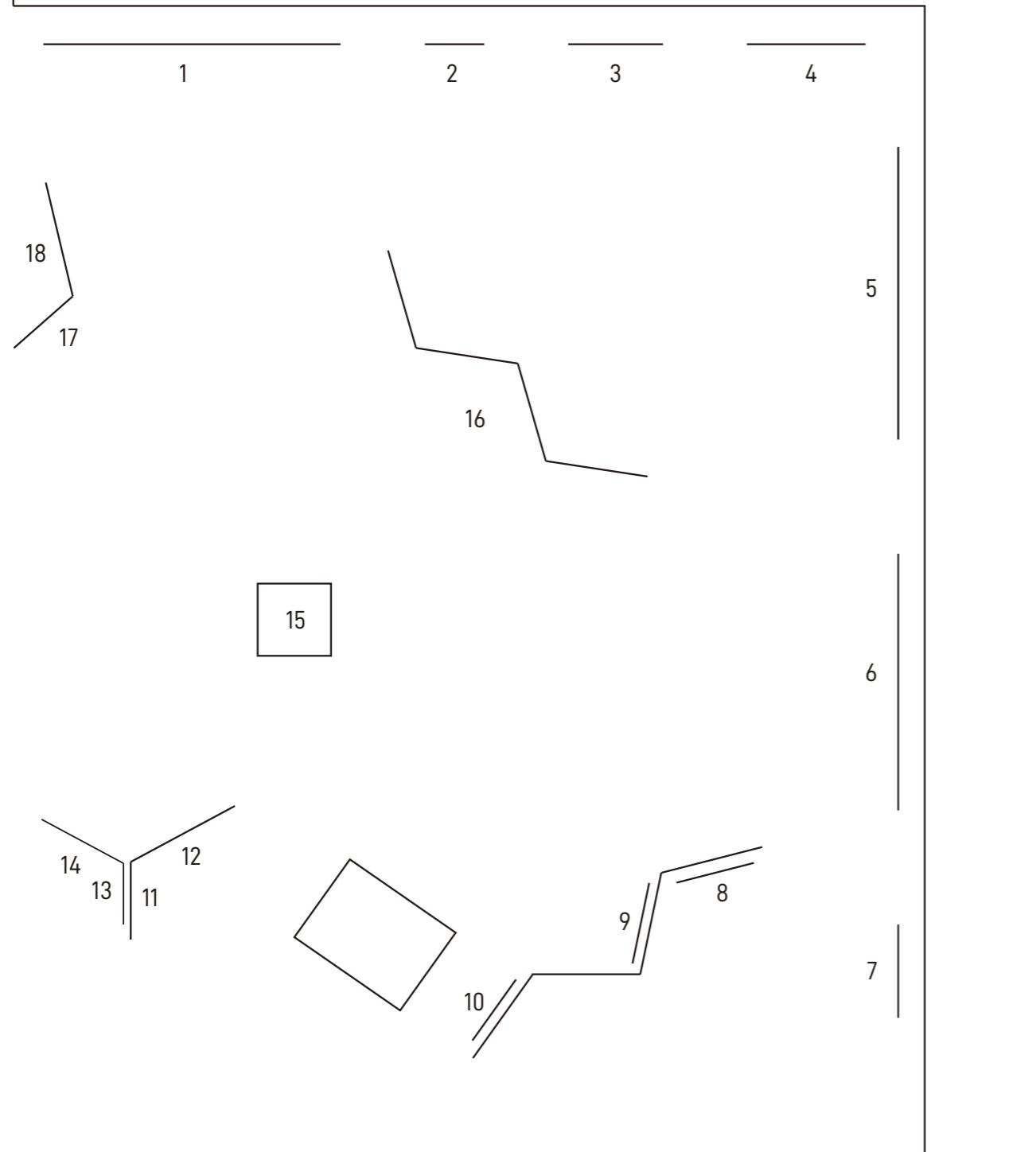
結界

間仕切

構成

項目

会場
東京造形大学 C S ホール
東京都八王子市宇津貫町1556 (JR横浜線 相原駅よりスクールバス5分)



1	室内構成の組み 綿布 アクリル絵具 木枠 1190 X 2200	2	折り紙の構成 16 綿布 アクリル絵具 木枠 380 X 455	3	折り紙の構成 17 綿布 アクリル絵具 木枠 530 X 652
4	折り紙の構成 19 綿布 アクリル絵具 木枠 720 X 910	5	絶対平面空間感覚 綿布 アクリル絵具 木枠 1190 X 2280	6	折り紙の構成 18 綿布 アクリル絵具 木枠 800 X 2000
7	窓からの組み 中華窓 綿布 アクリル絵具 木枠 910 X 727	8	窓からの組み 日本障子 綿布 アクリル絵具 木枠 910 X 727	9	折り紙の構成 4 綿布 アクリル絵具 木枠 594 X 841
10	窓からの組み 組子 綿布 アクリル絵具 木枠 380 X 455	11	折り紙の構成 27 綿布 アクリル絵具 木枠 727 X 606	12	折り紙の構成 26 綿布 アクリル絵具 木枠 727 X 910
13	折り紙の構成 13 綿布 アクリル絵具 木枠 530 X 455	14	折り紙の構成 14 綿布 アクリル絵具 木枠 530 X 652	15	構成の積木 木材 アクリル絵具 可変サイズ
16	間仕切り屏風絵 和紙 アクリル絵具 棚 3160 X 1830	17	折り紙の構成 6 パネル アクリル絵具 707 X 500	18	折り紙の構成 5 パネル アクリル絵具 707 X 1000